

福島医大病院ニュースレター

編集・発行/附属病院患者サービス向上委員会

〒960-1295 福島市光が丘1番地 / TEL (024) 547-1111 ホームページ <http://www.fmu.ac.jp/byoin/index.php>

新任挨拶



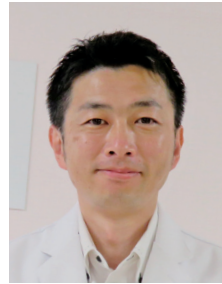
医療情報部

部長 井高 貴之

令和3年10月1日付けで医療情報部長を拝命いたしました井高貴之と申します。前職は、厚生労働省でデータヘルス改革や電子カルテ情報等の標準化、医療情報の利活用の推進などに取り組んでいました。

医療情報の領域は、①診療を情報通信技術を以って「支え」、②診療を「改善・発展」させるとともに、③データ解析による「新たな知見の獲得」や、ICTの技術革新がもたらすこれからの「最適な医療の実現に向けた変革」を担うことを目指しています。病院のデジタル化の中核を担う医療情報部は、こうした目標の下、医療情報システムの調達・運用・管理や様々な技術的及び運用管理上の安全対策、e-文書法への対応、情報システムによる業務改善等に取り組んでいます。

昨今、健康・医療・介護分野においてもDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進が求められています。これは単にデジタル化するのみならず、そのデータとデジタル技術を活用して、従来のサービスや行動様式を変革し、医療の安全性の向上、患者の利便性や満足度の向上、地域医療の質向上、効率的な病院運営等につながる事が重要になります。医療情報部において、これらを実現するための基盤となる医療情報と交換方式の標準化や、情報システムへの新技術の導入、地域の医療機関間やPHR（Personal Health Record）サービスを通じた保健医療情報の共有・連携に向けた取り組み等を進め、当院の情報戦略を推進し、院内の各部門との連携の下、附属病院におけるIT活用・投資に係る全体最適を目指して努力して参ります。皆様どうぞよろしくお願いたします。



患者サポートセンター

部長 門馬 智之

患者サポートセンターでは、患者さんが安心して入院、治療、退院、地域での療養ができるよう、医師、看護師、社会福祉士、薬剤師、医療事務などが連携・協同し、患者さんへの支援（サポート）を行っています。センターには院内、

院外の集約的窓口として、入退院支援部門、病床管理部門、患者支援部門を設置しております。

地域の限られた医療資源の中で、患者さんに適切な医療を提供するためには、高度急性期病院が重症の患者さんを受け入れ、状態が安定したらかかりつけのクリニックやリハビリ病院などにバトンを渡していく役割分担が重要です。患者さんのスムーズな社会復帰や円滑な退院・転院に向け、患者さんや家族の支援として、PFM（Patient Flow Management）に基づき、予定入院の患者さんから入院前に必要な情報収集を行い、身体的、社会的、精神的背景を把握し、退院後の生活に支障をきたす要因を早期に発見し、患者さんと共有して医療福祉相談、退院・転院調整を行っています。それらの活動により患者さんにとって適切なベッドコントロールと高度急性期病院として効果的な病床管理を目指しています。

また、当院の診療体制の広報活動を行い、最新情報を院内外の皆様に届けることで、当院で導入した高度医療を、必要とする患者さんに滞りなく提供できるサポートもしております。

患者さんのサポートを通じ、患者さんがより良い医療、療養を享受できるよう、みなさまと協力をしながら活動して参ります。

第56号のなかみ

1 ページ...○新任挨拶

2 ページ...○中央採血室・検体検査室の移転について

3 ページ...○永年勤続表彰

●永年勤続表彰受賞者 ●永年勤続表彰をうけて

4 ページ...○「接遇パトロール」を実施しました

○きいてください 院長さん

マチのほっとステーション
LAWSON

ローソン福島県立医科大学附属病院店（エレベーターホール隣）

ローソン福島県立医科大学店（7号館内）

病衣・タオル・紙おむつ・日用品・付添寝具

手ぶらで入院・手ぶらで退院
入院セットレンタル

お申込・お問合せ先：レンタル受付窓口

024-548-8777

* 院内1階、入退院受付横 9番窓口

月～土曜日 9:00～17:00(日祝祭日休)

土曜日はきぼう棟1階ローソン南側にて営業します。



中央採血室・検体検査室の移転について

当院検査部では患者さんの血液や尿などを検査材料とした検体検査をはじめ、遺伝子検査、微生物検査、生理機能検査、夜間・休日緊急検査、中央採血室における採血業務を担当しております。検査部の特色としては24時間365日体制で幅広く臨床検査サービスを提供し、各部門の担当者は高い専門性に基づき、正確、迅速な検査結果を提供しています。

このたび、2021年9月、患者さん利便性の向上を目的として、これまで2階にあった従来の中央採血室を、1階受付に最も近い病院正面玄関近くに移転しました。今回の移転に合わせ、採血予約制、および再来受付と採血受付を統合したシステムを導入しました。その結果、患者さんの分かりやすい受付方法、移動距離の短縮、採血待ち時間の短縮などが実現できました。また、採血室に隣接させるため検体検査室も移転させ、手作業による検体の到着確認作業を自動化したことで、採血してから検体を測定するまでの時間を短縮することが実現できました。これらにより、午前中の込み合う時間帯においても、安定した短い時間で検査結果の報告が可能になりました。

移転後の新検体検査室では、これまで人の手でやってきた多くの検査業務を自動化・省力化するべく、最新の検体搬送処理システムを導入しました。

導入された検体搬送処理システムには生化学検査、免疫検査、血液検査、凝固検査、HbA 1c検査を実施する複数の分析装置が接続されており、患者さんから採血した検体を搬送・自動処理するシステムです。採血室や病棟にて採血された検体はそのまま検体搬送処理システムに投入され、その後の検体静置、転倒混和、遠心分離、キャップ開栓、分析装置による測定、閉栓、冷蔵保存、廃棄といった一連の検査業務がすべて自動で処理されます。また、検査業務の自動化に伴い、検査スタッフの介入が減少したため、バイオハザードに対する安全性も確保できました。

今回の新システム導入により、検査室における多くの検査・管理業務を統合、自動化することができました。その結果、対応していた業務をより少ない人数のスタッフで対応できるようになりました。これら検査室の業務の自動化により、捻出された検査スタッフは生理検査業務にシフトすることで、患者さんの生理検査待ち時間の短縮に寄与することができました。

以上、当院検査部では患者さん利便性の向上を目標に、引き続き対応してまいりますので、よろしく願いいたします。



中央採血室待合



新検体検査室



福島市 太平寺 スキップフロアの家

UNNO HOUSE
CONCEPT HOUSE

株式会社ウノハウス 福島支店
UNNO HOUSE ☎0120-36-1131

令和3年度永年勤続表彰受賞者

人間科学講座	教授	藤野美都子
甲状腺内分泌学講座	教授	鈴木 眞一
心臓血管外科学講座	准教授	佐戸川弘之
生命科学部門	講師	加藤 郁子
臨床研究センター	主任看護技師	遠藤 直美
放射線部	専門放射線技師兼係長	遊佐 雅徳
薬剤部	副部長（業務担当）	須藤 孝浩
薬剤部	主任薬剤技師	高橋 智子
薬剤部	主任薬剤技師	町田 幸枝
看護部	副部長（業務担当）	二丹 玲子
看護部	助産師長	新井 昌子
看護部	看護師長	樋口 和枝
看護部	副看護師長	本多キヨ子
看護部	副看護師長	山中 多喜
看護部	主任看護技師	齋藤優紀子
看護部	主任看護技師	小野美智子

看護部	主任看護技師	志賀 正子
看護部	主任看護技師	佐藤 俊江
看護部	主任看護技師	高橋 明子
看護部	主任看護技師	金澤 久美
看護部	主任看護技師	会田由美子
看護部	主任看護技師	橋本 京子
看護部	主任看護技師	佐々木さおり
医事課（給食管理係）	主任調理師	佐藤 一穂
学術情報室（図書館・展示館）	専門司書	古川 聖子



理事長式辞

「永年勤続表彰を受けて」

薬剤部 須藤 孝浩



令和3年11月25日、永年勤続表彰式が行われ26名の職員が永年勤続表彰を受けました。無事にこの日を迎えることが出来たのは、先輩、同僚、家族など多くの方々から支えられていたからこそと、心から感謝いたしております。また新型コロナウイルス感染症のなか、このような晴れがましい機会を設けてくださった大学関係者の方々に御礼申し上げます。

私が県に採用されたのは、平成3年で県立会津総合病院に赴任いたしました。それから4施設21年間を県立病院の薬剤師として勤務しました。附属病院薬剤部には震災の翌年平成24年から勤務しております。

平成3年当時は院外処方箋がなく院内処方のみで調剤に明け暮れる毎日でした。薬の待ち時間は1、2時間、何度患者さんから苦情とお叱りをいただいたかわ

かりません。薬袋は手書き、調剤機器も散薬分包機のみで錠剤の1包化は手作業で行っており昼休憩もそこに業務に戻る忙しい日々でした。辛かったですが、スピードと正確性が求められる極限状態のなかで新人時代を過ごすことができたからこそ今の自分があるのだと思います。院外処方箋の発行開始により病院薬剤師は調剤室から病棟へと活躍の場を移しましたが、患者さんに安心安全な医療（薬）を提供することは、今も昔も変わることはありません。医療の進歩は日進月歩、次々に新しい治療法と治療薬が出てきます。今後も福島県立医科大学の一員としての誇りを胸に、県民の皆様に安心安全な医療を提供できるよう努めてまいります。





「接遇パトロール」を実施しました

患者サービス向上委員会では、接遇向上への取り組みの一環として「接遇パトロール」を実施しました。外来や病棟など15の部署を訪問し、患者さんへの対応や職員の身だしなみなど接遇マニュアルの遵守状況や、接遇標語の周知状況等について確認しました。

患者さんに対して窓口で丁寧に対応しているところや、現場の意見を確認することができました。

今後も「選ばれる病院」となるために接遇パトロールを実施し、当院の接遇向上を図っていきたいと思います。



接遇標語：12～1月

マスクをしても
常にアイコンタクトをとり、
心からの「笑顔」で接しましょう

接遇マニュアル 19-7-20
接遇サークル部「笑顔」より

患者サービス向上委員会
接遇向上推進委員会



職員が見えるところに掲示してください

接遇向上を図ることを目的に接遇標語を作成し、職員への意識付けを行っています。



きいてください 院長さん
—より良い医大病院にするために—

いただいた御意見
⇒回答・対応

「きぼう棟からみらい棟への移動の時、同じ色だと見えにくく白い柱にぶつかりそうになるため、色をかえてもらいたいです」

⇒ きぼう棟とみらい棟をつなぐ通路（1階・2階）の柱の下半分を着色しました。



「入院した日数がわからないため、領収書に、入院した期間を入れて欲しいです」

⇒ 10/19より様式を変更し、印字することとしました。

「タクシー乗場のところのベンチを患者さん以外の一部の方が長時間利用しています」

⇒ 「ベンチの利用についてのお願い」のチラシを作成し、長時間の御利用を御遠慮いただくよう依頼しました。

スターバックスコーヒー福島県立医科大学附属病院店

営業時間 平日 7時～20時
土日祝 9時～19時

アメリカ シアトル生まれのスペシャルティコーヒーストア。
高品質のアラビカ種コーヒー豆から抽出したエスプレッソがベースのバラエティ豊かなエスプレッソドリンクやバスター、サンドイッチをお楽しみいただけます。



すべてを地域のために

東邦銀行

ご利用・お問い合わせは 福島医大病院支店

窓口営業時間：平日【午前の部】9:00から11:30
【午後の部】12:30から15:00

電話 024-548-5331 受付時間：平日 9:00から11:30
12:30から17:00